

## 女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める請願

衆議院議長 殿  
参議院議長 殿

### 【請願主旨】

女性差別撤廃条約選択議定書は、条約の実効性を強化するために1999年に国連で採択されました。2022年1月現在、条約締約国189カ国中114カ国が選択議定書を批准しています。2021年3月、世界経済フォーラムが発表した世界各国の男女平等の度合いを示す「ジェンダー・ギャップ指数」において日本は156カ国のうち120位と低位のままです。選択議定書の批准により女性差別撤廃条約の示す男女平等の実現を促進することが、日本の現状打開のために急務となっています。

女性差別撤廃委員会における日本レポート審議では、2003年、2009年、2016年とも選択議定書の批准が奨励され、日本が批准を検討するよう繰り返し求められています。第5次男女共同参画基本計画は、「女子差別撤廃条約の積極的遵守等に努める」「女子差別撤廃条約の選択議定書については、諸課題の整理を含め、早期締結について真剣な検討を進める」としています。すでに検討は20年余に渡りなされており、政府はこの計画にのっとり、すみやかに選択議定書を批准すべきです。

以上の理由から、下記の項目を強く要望します。

### 【請願事項】

#### 女性差別撤廃条約選択議定書をすみやかに批准すること

氏名	住所（都道府県からご記入ください）

返送先 〒178-0063 東京都練馬区東大泉 3-7-11 国際女性の地位協会気付  
女性差別撤廃条約実現アクション

取りまとめ団体（ ）

\*この署名は国会への請願提出以外には使用しません。 \*自署をお願いします。  
\*住所の記入に際して「同上」あるいは「ー」を使わず、都道府県名から記入してください。